

ペンタニック・スケールの覚え方 その4

メジャー・ペンタニックについて

近現代の音楽というのはマイナーがあればメジャーがあるという鉄板の原則があります、マイナー・ペンタニックという調性があるなら必ずメジャー・ペンタニックもあります。

メジャー/長調の方が本来は基本で、そこからマイナーが派生するのが筋。

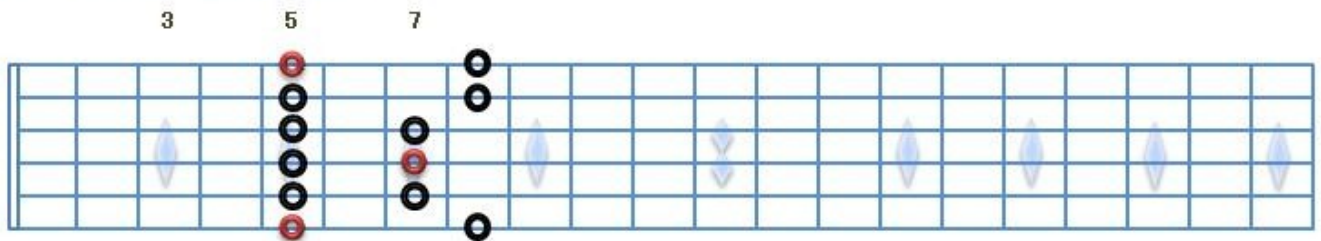
だから話が逆になりましたが、メジャー・ペンタニックについても当然ながら覚える必要があります。

ジャーペンタニックを憶えるのは意外に簡単で、マイナー・ペンタと同じ。まったく一緒です。

唯一違いがあるのはルートの位置だけです。

最初に、「**マイナー・ペンタニックは、人差し指をルートに置く所から出発します**」

マイナー・ペンタニック 基本ポジション-1



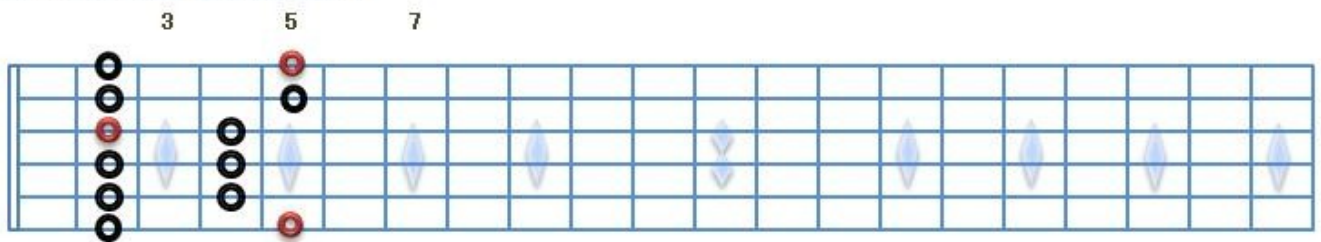
A マイナー・ペンタなら、人差し指をルートの6弦5フレットに置きます。

メジャーではルートを取る指が変わります。

「**メジャー・ペンタニックは、小指をルートに置く所から出発します**」

つまり、Aメジャー・ペンタニック・スケールの基本ポジション-1は、、、こうなります。

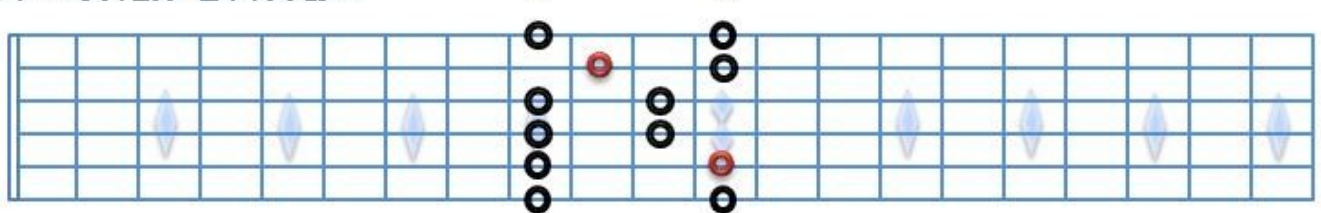
メジャー・ペンタニック 基本ポジション-1



スケール・フォームの形はまったく一緒。ですがルートを小指で押さえるので位置がズれる。

基本ポジション-2も同じことです。形は一緒、ルートを押さえる指を小指に変えれば。。

メジャー・ペンタニック 基本ポジション-2

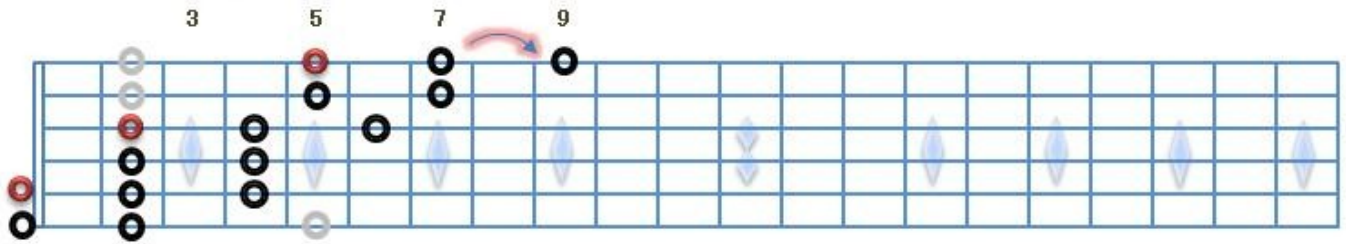


まとめると、

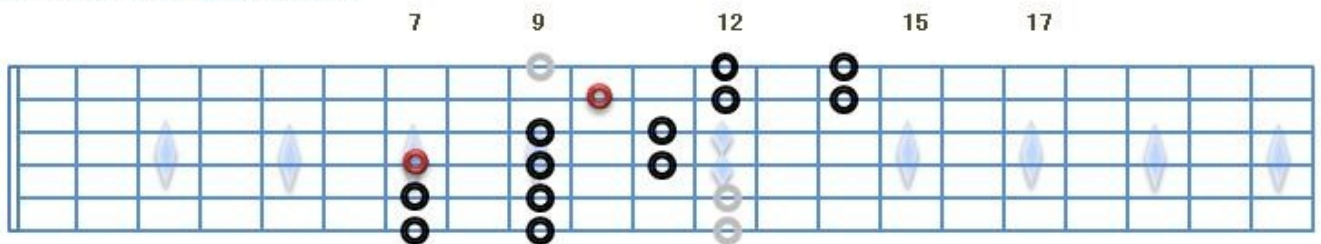
- ・マイナー・ペントニックを押さえる時は、人差し指をルートに置く所から出発する
- ・6弦のルートに人差し指を乗せたら、基本ポジション-1
- ・5弦のルートに人差し指を乗せたら、基本ポジション-2
- ・メジャー・ペントニックを押さえる時は、小指をルートに置く所から出発する
- ・6弦のルートに小指を乗せたら、基本ポジション-1
- ・5弦のルートに小指を乗せたら、基本ポジション-2

拡張ポジションもまったく同じ事です、位置がずれるだけです。

メジャー・ペントニック 拡張ポジション-1



メジャー・ペントニック 拡張ポジション-2



出現する形が一緒なので憶える苦労はありませんが、かえって混乱しますね。

A メジャー・ペントニックの音とフォームは100% F#マイナー・ペントニックとイコールだっていうのも初めのうちは混乱のもとかも知れません。

A メジャー = F#マイナー

C メジャー = Aマイナー

※ C メジャーと思って小指を6弦8フレットに置く基本ポジションと、A マイナーと思って人差し指を6弦5フレットに置く基本ポジション。まったく同じです。

(平行調の項を参照)

こういう事が起こるから調性は大事なんです。

C メジャー・ペンタを弾いてるつもりなら、C△7コードを鳴らし、

A マイナー・ペンタを弾くつもりなら、Am7コードを鳴らす。

そうすると、自然とメジャーならメジャーの、マイナーならマイナーのフィーリングが出せるようになるはずです。